



2020年4月1日

各 位

会 社 名 株式会社 ワ ッ ツ
代 表 者 名 代表取締役社長 平岡史生
(コード番号: 2735 東証第一部)
問 合 せ 先 常務取締役経営企画室長 森 秀人
電 話 番 号 06-4792-3280 (代)

第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2019年10月10日に公表しました2020年8月期第2四半期(累計)連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2019年9月1日~2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 25,500	百万円 300	百万円 310	百万円 120	円 銭 8.96
今回修正予想(B)	25,982	786	783	420	31.39
増減額(B-A)	482	486	473	300	
増減率(%)	1.9	162.1	152.6	250.5	
(ご参考)前期第2四半期実績(2019年8月期第2四半期)	25,648	366	337	103	7.70

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきまして、当初は、100円ショップ既存店売上高の対前期比を100.0%と想定していたことに加え、子会社である(株)あまのの事業から撤退することによる売上高減少分を考慮し、減収予想としておりました。また、出退店及び改装等の設備投資を上期中心に実施する計画であったことから、営業利益、経常利益についても前期を下回る見込みでした。

しかしながら、100円ショップ事業において、100円以外の価格帯の商品導入を進めてきた効果が想定より早く表れてきたこと、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うマスク・除菌関連商品の需要増等により、既存店売上高が対前期比103.5%と好調に推移したため、売上高につきましては、計画を上回る見込みであります。

また、新店及び改装等の設備投資の抑制や運搬費、光熱費等の経費削減施策を主因として販売費及び一般管理費が想定より抑えられたことから、利益につきましても、当初予想値を大きく上回る見込みであります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息時期や今後の影響の見通し等、不透明な状況が続いているため、前回予想数値を据え置いております。今後、修正が必要と判断した場合には、速やかに情報開示いたします。

注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって業績予想値と異なる場合があります。

以 上